

CASBEE-広島 (2010年ver.1)
安佐南消防署

用途等で評価が不要となる項目については、自動的に網掛けが入ります
 欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE広島 2009年版
 ■ベース評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								3.5
Q1 室内環境			0.40					3.6
1 音環境		3.6	0.15					3.6
1.1 騒音		3.0	0.40					
1 暗騒音レベル		3.0	1.00					
1.2 遮音		4.6	0.40					
1 開口部遮音性能	T-2仕様(特記仕様書)	5.0	0.60					
2 界壁遮音性能	LGS65+PB二重貼り GW充填(32K)	4.0	0.40					
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)								
4 界床遮音性能(重量衝撃源)								
1.3 吸音		3.0	0.20					
2 温熱環境		2.7	0.35					2.7
2.1 室温制御		3.2	0.50					
1 室温設定		3.0	0.38					
3 外皮性能	外断熱工法 垂直ルーバー 高遮熱断熱複層ガラス	4.0	0.25					
4 ゾーン別制御性		3.0	0.38					
2.2 湿度制御		1.0	0.20					
2.3 空調方式		3.0	0.30					
3 光・視環境		4.1	0.25					4.1
3.1 昼光利用		4.2	0.30					
1 昼光率	1.99+1.39+1.36=4.74	5.0	0.60					
2 方位別開口								
3 昼光利用設備		3.0	0.40					
3.2 グレア対策		4.0	0.30					
2 昼光制御	ブラインド+庇	4.0	1.00					
3.3 照度		3.0	0.15					
1 照度		3.0	1.00					
3.4 照明制御	照明スイッチ系統の細分化 昼光センサーの採用	5.0	0.25					
4 空気質環境		4.3	0.25					4.3
4.1 発生源対策		5.0	0.50					
1 化学汚染物質	告示対象外の建材 F☆☆☆☆の採用 特記仕様書VOC規制	5.0	1.00					
4.2 換気		3.3	0.30					
1 換気量	換気量 建築基準法及び建築物衛生法の1.2倍	4.0	0.33					
2 自然換気性能		3.0	0.33					
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33					
4.3 運用管理		4.0	0.20					
1 CO ₂ の監視		3.0	0.50					
2 喫煙の制御	署内全面禁煙	5.0	0.50					
Q2 サービス性能			0.30					3.9
1 機能性		3.8	0.40					3.8
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40					
1 広さ・収納性		3.0	0.33					
2 高度情報通信設備対応		3.0	0.33					
3 バリアフリー計画		3.0	0.33					
1.2 心理性・快適性		4.3	0.30					
1 広さ感・景観	天井高2.7m 窓設置	4.0	0.33					
2 リフレッシュスペース	休憩室 自販機コーナー	5.0	0.33					
3 内装計画	コンセプト機能の明確化 適切な照明計画	4.0	0.33					
1.3 維持管理		4.5	0.30					
1 維持管理に配慮した設計	10ポイント	5.0	0.50					
2 維持管理用機能の確保	9ポイント	4.0	0.50					
2 耐用性・信頼性		4.3	0.31					4.3
2.1 耐震・免震		5.0	0.48					
1 耐震性	重要度係数1.5	5.0	0.80					
2 免震・制振性能	免震装置	5.0	0.20					
2.2 部品・部材の耐用年数		3.6	0.33					
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23					
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	タイル張り	5.0	0.23					
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.09					
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08					
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	C以上	4.0	0.15					
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23					

2.4 信頼性			4.0	0.19		-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20		-	
2	給排水・衛生設備	節水器具 配管系統区分 貯留槽	5.0	0.20		-	
3	電気設備	非常用発電設備 2系統受電 浸水危険性の回避	5.0	0.20		-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20		-	
5	通信・情報設備	通信手段の多様化 浸水の危険性がない	4.0	0.20		-	
3 対応性・更新性			3.7	0.29		-	3.7
3.1 空間のゆとり			4.6	0.31		-	
1	階高のゆとり	3.9以上	5.0	0.60		-	
2	空間の形状・自由さ	壁長比率=0.235 (123.6+37.17)/(698.97-16.86)	4.0	0.40		-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31		-	
3.3 設備の更新性			3.6	0.38		-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.17		-	
2	給排水管の更新性	構造部材を傷めない	4.0	0.17		-	
3	電気配線の更新性	構造、仕上げ部材共傷めない 一部ラック処理	5.0	0.11		-	
4	通信配線の更新性	仕上げ材を傷めない	5.0	0.11		-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.22		-	
6	バックアップスペース		3.0	0.22		-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30		-	3.1
1 生物環境の保全と創出		建物緑化指数:115.45/1134.95=0.10	2.0	0.30		-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮		町並との調和 シンボルの形成 デザイン検討会の景観協議	4.0	0.40		-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30		-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50		-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-		-	3.7
LR1 エネルギー			-	0.40		-	4.0
1 建物の熱負荷抑制			5.0	0.30		-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.5	0.20		-	3.5
2.1	自然エネルギーの直接利用	天井面までの大型開口と縦ルーバーで反射光を拡散し広範囲へ採光	4.0	0.50		-	
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50		-	
3 設備システムの高効率化		ERR=0	3.4	0.30		-	3.4
4 効率的運用			4.0	0.20		-	4.0
4.1	モニタリング	モニタリング機能付機器の採用	4.0	0.50		-	
4.2	運用管理体制	基本方針の計画作成	4.0	0.50		-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30		-	3.9
1 水資源保護			3.8	0.15		-	3.8
1.1	節水	節水コマ 節水型便器	4.0	0.40		-	
1.2	雨水利用・雑排水再利用		3.6	0.60		-	
1	雨水利用システム導入の有無	雨水利用	4.0	0.67		-	
2	雑排水再利システム導入の有無		3.0	0.33		-	
2 非再生性資源の使用量削減			4.2	0.63		-	4.2
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07		-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用	既存建物の一部を残し土留めに利用	4.0	0.24		-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	基礎躯体に高炉セメントを使用	4.0	0.20		-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	再生骨材 タイル OAフロアー用ビニル床タイル	5.0	0.20		-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.05		-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	OAフロアー LGS及びGL工法	5.0	0.24		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.2	0.22		-	3.2
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.32		-	
3.2	フロン・ハロンの回避		3.3	0.68		-	
1	消火剤	ハロン使用無し	4.0	0.33		-	
2	断熱材		3.0	0.33		-	
3	冷媒		3.0	0.33		-	
LR3 敷地外環境			-	0.30		-	3.1
1 地球温暖化への配慮			3.4	0.33		-	3.4
2 地域環境への配慮			2.9	0.33		-	2.9
2.1	大気汚染防止	NOx排出最大値50ppm<60(環境省ガイドライン)×0.9=54ppm	4.0	0.25		-	
2.2	温熱環境悪化の改善	屋根緑化面積率:(115.45/1134.95)×100=10.0	2.0	0.50		-	
2.3	地域インフラへの負荷抑制		3.6	0.25		-	
1	雨水排水負荷低減		-	-		-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33		-	
3	交通負荷抑制	駐輪場、外来駐車場の確保 駐車場出入り口の分散	5.0	0.33		-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.33		-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33		-	3.2
3.1	騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40		-	
1	騒音		3.0	1.00		-	
2	振動		-	-		-	
3	悪臭		-	-		-	
3.2	風害、日照阻害の抑制		3.0	0.40		-	
1	風害の抑制		3.0	0.70		-	
2	日照阻害の抑制		3.0	0.30		-	
3.3	光害の抑制		4.4	0.20		-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害対策ガイドライン項目の過半を満足	5.0	0.70		-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	